



物価高騰の中 暮らしを守る予算こそ！

久喜市新年度予算案

久喜市は2月6日23年度の一般会計約525億円、国保などの特別会計・水道会計など全体で、約962億円の予算案を明らかにしました。

一般会計前年度比5%の増です。これは物価高の影響を見込み実質的な事業拡大とは言えないとしています。

特に増加した予算は

このような中でも、衛生費は約34%の増、ごみ処理施設整備費や、公的病院運営費・医療施設整備費への補助などです。土木費は約21%の増、東鷲宮駅東側立体通路や、南栗橋遊歩道整備等が増加の主な要因です。

歳出の「性質」別で見ると

維持補修費113%と特出しています。区分別に見ると、修繕費85%・補修費35%・除草費7%増となっています。

新規事業では

フルマラソン大会事業、出産・子育て応援事業、そして市立鷲宮西中・上内小・鷲宮小学校の3校を統合し（26年4月開校）久喜市で初の「義務教育学校の開校など16項目が出されています。

暮らしへの支援策は

18才までの医療費無料化事業が開始されますが、コロナ禍対策や物価高対策として取り組んできた、水道料金の基本料免除や物価高騰に伴う支援金事業、学校給食無料化など、暮らしを支援する施策は終了としており、新たな支援策は見当たりません。

市立鷲宮義務教育学校開校準備事業

1億161万円

上内小、鷲宮小、鷲宮西中学校の3校を統合し義務教育学校(小1～中3)の校舍増築の設計や用地測量を実施する。(久喜市で初めて)

東鷲宮駅周辺整備事業

3億7000万円

東鷲宮駅東広場から、駅前のスーパー「ヤオコー」を結ぶ立体通路を整備する。(屋根付きデッキ)

地域医療対策事業

1億3023万円

地域医療提供体制の確保。開院する秋谷病院への支援や、新久喜総合病院の運営を支援する。



久喜市の基金(貯金)の状況

財政が厳しいとしますが、基金は毎年増加しています。

年度	財政調整基金	その他	合計
2019年度末	48.7億円	27.5億円	76.2億円
2020年度末	39.9億円	30.3億円	70.2億円
2021年度末	41.7億円	42.2億円	83.9億円
2022年度末	43.1億円	47.9億円	91.0億円
2023年度末	28.8億円	54.7億円	73.5億円

久喜市は予算編成時、前年度の財政調整基金を取り崩し編成することから、編成後の基金残高は表のとおり大きく減少。しかし、決算で約20億円が戻り(22年度)91億円となりました。実際には基金残高は増加しています。

2月定例会議(2/13～3/20)
ぜひ傍聴にいらして下さい

12日(月)	市長の所信表明
26日(日)	代表質問 杉野
27日(月)	一般質問 ③石田
28日(火)	一般質問
2日(木)	一般質問 ①渡辺
3日(金)	一般質問 ①杉野
7日(火)	議案質疑
8日(水)	総務常任委員会
9日(木)	福祉健康
10日(金)	建設上下水道
13日(月)	教育環境
3月20日(月曜日)	最終日・意見書に対する質疑 討論・採決等

ごみ処理施設整備推進事業

13億9759万円

老朽化した3つの焼却施設を統合し整備する事業。大規模水害でも浸水しない高さまで盛土する。隣接する公園の道路整備など実施する。



子ども医療費無料化がついに実現。日本共産党議員団がこれまで長年粘り強く取り組んで来たものです。

子ども医療費支給事業

5億5276万円

子どもの医療費を18歳になった日の属する年度末日まで無料にする。



農業振興拠点・道の駅事業

1717万円

菖蒲地区に設置：道の駅、災害時の広域避難先、スポーツ振興の拠点と位置づけた基本計画を策定する。



(1) 令和5年度久喜市国民健康保険税率については、次の表の通りとする。

		医療給付費分	後期高齢者 支援金等分	介護納付金分	合計
現行	所得割	7.0%	2.1%	2.2%	11.3%
	均等割	29,000円	10,000円	11,000円	50,000円
改正後	所得割	6.86%	2.34%	2.31%	11.51%
	均等割	33,200円	12,300円	13,600円	59,100円

賦課限度額の改定

	医療給付費分	後期高齢者 支援金等分	介護納付金分	合計
現行	63万円	19万円	17万円	99万円
改正後	65万円	20万円	17万円	102万円

令和5年度
国民健康保険税率引き上げ
埼玉県へ統一した保険事業ですが、これまで、県に納める納付金は不足が続いて、基金を取り崩し補ってききました。しかし、今年度末の基金残高は1億8千万円になる見込みで、基金を取り崩しだけでは不足分を賄えないとして、表の通り保険税の引き上げ案が2月議会に提出されました。

県は、令和9年度には「収納率」以外に赤字補填で一般会計から繰り入れた分をなくす方向です。そうしなければ税率の引き上げしかありません。

県や医療団体も国の補助を1兆円規模に増やすことを要求していますが、一向に改善されません。国保の持つ構造的な欠陥を改善せずに、保険税だけを引き上げれば、この物価高騰の中、医療にかかれない人が出てしまいます。高すぎる国保税、むしろ引き下げが求められています。引き上げは大問題です。

質問と提案！住み続けたいくなる久喜市に！



渡辺まさよし

3月2日質問 1 番目

(9 時開始)

久喜駅東口・西口の

トイレを洋式化すべき

久喜駅の東西トイレの洋式化が進んでいない。故障して使えないところもある。久喜市の玄関でもある駅のトイレが洋式化されていないのはいかがなものか。早急に対処すべきだ。

菖蒲老人福祉センターの

送迎の拡大を

老人福祉センターの送迎は高齢者に大変喜ばれている。しかし、一部の方に限られており希望しても利用できない方がいる。交通手段がない方の送迎を拡大して、多くの方に利用してもらうように改善すべきだ。

公共施設の重い机 収納が危険

利用しやすいものへ

公民館・集会室では、利用する方が高齢となり、机など重くて運ぶことが困難になっている。重ねての収納には危険も伴う。計画的に、楽に収納できるものへと変えていくべきではないか。

後期高齢者医療費の

2 割負担について

- ① 今回の久喜市内の対象者は何名で、その割合は。
- ② 後期高齢者医療制度は被



側溝に蓋があるのが普通です。

栗橋地区の医療体制を問う

秋谷病院の開院が決定する中、病院名や課題について問います。同時に栗橋地区における「かかりつけ医」の開業が待たれており、久喜市の対応を問います。

公共交通の利便性向上を

公共交通は久喜市の根幹をなす事業です。合併以降進めて来た事業のあり方を、市内循環バス・デマンド交通(くきまる)・ふれあいタクシーについて課題解決に向けた提案を示し、質問します。

とりわけ、デマンド交通で予約がとれない状況や、栗橋・鷲宮地区から「新久喜総合病院」に直接いけない状況は早期に改善すべきです。

公共交通が充実すれば、健康寿命が延び、久喜市にとって

「有益な副反応」が多面的に生まれることも指摘したいと思

います。さらに、公共交通の赤字分の40%は、国から特別交付金が給付されます。大胆に事業展開を進めることができます。民間事業者が運営するバス等を支援するため、交通弱者に「おでかけ定期券」の発行など提案

します。

石田としはる

2月27日 質問 3 番目

大規模水害対策のとりくみは

久喜市は、災害時に支援が必要な方を支援する方として、民生委員さん・区長さん・自主防災組織の方を頼りにしています。しかし、大規模水害時では、支援者も避難が求められます。支援者の方々のマイタイムラインなど作成しておくべきと提起します。

バスによる広域避難体制を久喜市は進めています。バスによる避難者数は把握しないと

農地耕作用、用排水路整備を

耕作するには用排水が欠かせません。整備を求めます。

側溝蓋が劣化して破損

修繕の在り方は

道路の端にある側溝、蓋が劣化し穴が空き、自転車などの走行に不安があります。改善を求め

娯楽施設に向かう道路

防犯灯設置を

栗橋地区には「ラウンドワン」「ボートピアの栗橋」などの娯楽施設が南栗橋から近い距離にあり、徒歩で行く方もいます。ラウンドワンなどは営業を遅くまでやっております。防犯灯がなくなると暗い場所もあります。改善を求め



杉野おさむ

3月3日 質問 1 番目

マイナンバー国保証は持って

ない。従来の国保証でも使えるようにすべき

① 国は、2024 年秋に現在

の国保証を廃止し、マイナ

ナンバーカードと一体化する

方針であることを明らかに

している。これでは、マイナ

カードの取得が事実上の「義務

化」になるのではないかと

疑問が湧いてくる。マイナ

カードが獲得できるから有利

とばかりそれを前面に押し

出している。久喜市がリード

して実現に持っていくべき

ではないのか。

② マイナカードをつくら

ない市民は、「利便性を感じ

ない」とか「使える医療機

関が限られている」とある

いは「情報漏洩などセキュリ

ティに不安がある」という

理由を上げているが。

③ 暗証番号を誕生日など

にすると、第3者がマイナ

カードで公的文書を取得す

る恐れはないのか。

④ 第3者が暗証番号を知

ったとき、マイナポータル

で税金や所得額などを閲覧

する恐れは全くないのか。

⑤ そもそもカード作成は



多くの市民が使う鷲宮の温水プール。町の時代から愛されてきた